

平成26年度第1回都市環境デザイン委員会議事概要

日時：平成26年5月30日(金)13:30から
場所：帯広市役所10階第3会議室

出席委員

河西委員長、神田副委員長、佐伯委員、渋谷委員、鈴木委員、鳥宮委員、橋本委員
藤平委員、武士澤委員

事務局

福島企画調整監、松原課長補佐、吉田主査、白田主任、齋藤主任

議事概要

1. 開 会
2. 委員長挨拶
3. 職員紹介
4. 議 題

(1) 報告事項

- ①平成26年度帯広市都市環境デザイン委員会の予定について

報告事項について、委員からの意見・質疑等はありませんでした。

(2) 協議事項

- ①第10回まちづくりデザイン賞の募集について

【主な内容】事務局より第10回まちづくりデザイン賞について、賞の概要や今後のスケジュールについて説明がありました。また募集方法について広報誌への掲載やポスターの掲示、ラジオ、TV等の媒体を通じた告知を予定している旨説明がありました。

委員からの意見・質疑などは以下のとおりです。

【委員】ポスターの具体的な配布先はどのような場所を想定しているか。またラジオやテレビではどのような内容で告知する予定か。

【事務局】市の施設、商店街、建築関係の組合、観光協会、青年会議所などに掲示依頼をする予定である。ラジオなどではアナウンサーによる記事の読み上げで内容について告知することを予定している。

【委員】例えばラジオで過去の受賞者に出演を願うなど、単なる告知ではない内容にするなどしてはどうか？

【委員】編成の問題などがあり、市の独断で決められるものではないが視聴者の興味を引くような内容の放送を検討したい。

【委員】タウン情報誌に広告を掲載することは難しいか？

【事務局】費用やスケジュールなどの問題があり、すぐに実施することは難しいが、記事として取り上げてもらえないか働きかけたい。

【委員】ポスターにQRコードを載せるなど、興味を引く工夫が必要では？

【事務局】技術的に可能かどうか検討し、実現可能であれば、今年度より導入を検討したい。

【委員】今までは結果を市のホームページに掲載するだけで、結果に対するPRが不足している。結果こそPRする必要があるのでは。

【事務局】今後、何らかの方法で周知していくことを検討したい。

【委員】例えば受賞したら、市役所のエレベータ内に1年間掲示されるなど受賞のメリットをもっと打ち出す必要があるのでは。

【事務局】庁内の広告スペースは有料になっており、対応は難しいがメリットを打ち出す必要はあると考えている。

【委員】町内会の回覧版でPRするのはどうか。

【事務局】関係部署と協議の上、実現可能かどうか検討したい。

【委員】歴代の受賞者に応募者の紹介を依頼してはどうか。

【事務局】働きかけてみたい。

【委員】応募用紙が堅苦しく、応募のハードルが高く感じる。

【事務局】フォントの変更などを行い、やわらかい印象にするなど書きやすく応募しやすいよう変更したい。

②景観にかかる検討について

事務局より北見市の景観行政団体移行状況について、景観計画の取り組みや景観フォトコンテスト開催などの事例を紹介し、情報提供を行いました。

委員からの意見・質疑などは以下のとおりです。

【委員】帯広市としては景観行政団体移行について、今後どのように考えているのか？

【事務局】現在、帯広市の建築物に関しては、北海道の条例で景観に規制がかかっており、帯広市独自で条例を設けて規制しなければならない問題があるわけではないと考えている。規制が必要であるという考えではなく、良い景観を守っていく、紹介していくような方法で、帯広市の景観とはどういうものなのかをもう一度考え、その中で何が必要かという視点で景観行政団体移行について考えていきたい。

【委員】 以前行っていた景観百選が景観の意識の向上につながるのでは？

【事務局】 景観百選のような取り組みを継続する事が良いのではと考えている。市民の方に景観について目を向けてもらえるような仕掛けを考えていきたい。気軽に参加できるようなフェイスブックなどを通して景観に関わる情報を発信し、意識の盛り上げにつなげていきたいと考えている。

(3) その他

事務局より、次回開催予定日時について説明がありました。
また、今年度の都市景観主要建築物の選定について、現在のところ該当する公共建築物の予定が無い旨の説明がありました。

報告事項について、委員からの意見・質疑等はありませんでした。

以 上